

八代市立博物館未来の森ミュージアム

〒866-0863 熊本県八代市西松江城町12-35

開館時間：9:00~17:00 (入館は16:30)

休館日：毎週月曜日・祝日の翌日

<http://www.city.yatsushiro.kumamoto.jp/museum/>

Tel: 0965-34-5555

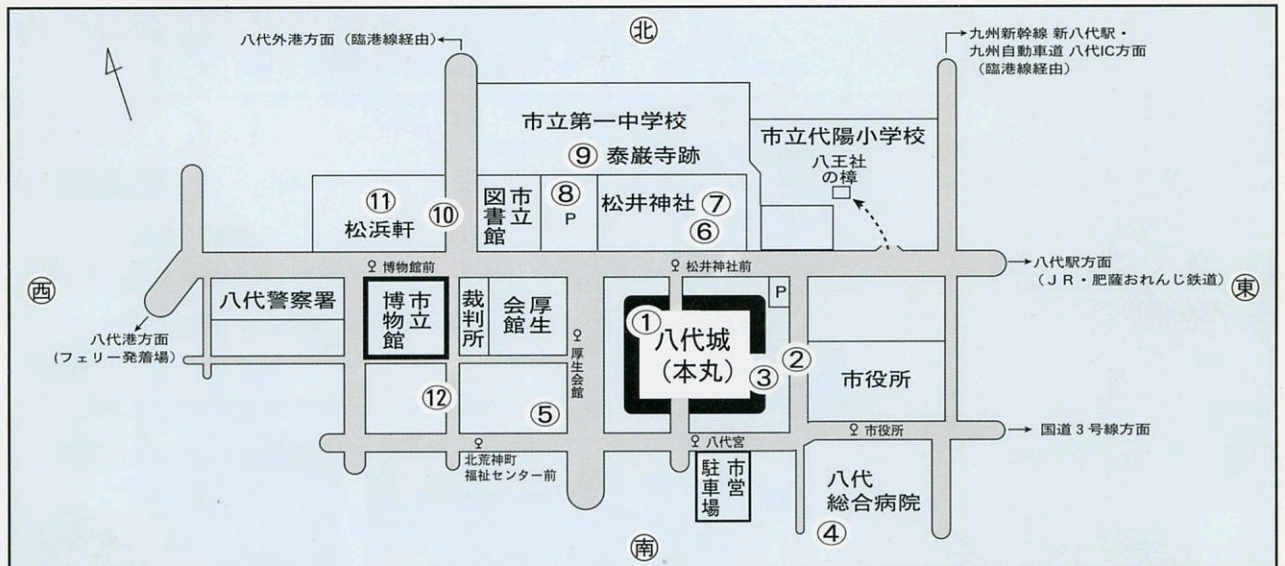
八代城

● 八代城について

八代城は、元和5年(1619)の地震により麦島城が崩壊したため、熊本城主加藤忠広が、幕府の許可を得て加藤正方に命じ、同6~8年にかけて球磨川河口北側の松江村に築城した平城です。

寛永9年(1632)加藤氏の改易により熊本城主となった細川忠利の父忠興(三斎)が入城し、北の丸を居所として本丸には四男の立孝(立允)を居住させました。正保2年(1645)閏5月に立孝が、続いて12月に三斎が没したため、翌3年(1646)家老松井(長岡)興長が入城し、以後は松井氏が代々在城しました。

● 八代城跡周辺略図



①本丸天守台跡 ②本丸跡東側の欄干橋 ③欄干橋の擬宝珠
④二之丸石垣跡 ⑤永御蔵跡 ⑥臥龍梅 ⑦松井神社茶庭(北之丸跡)
⑧北之丸の外堀跡 ⑨織田信長供養塔 ⑩松浜軒正門の冠木門
⑪松浜軒庭園 ⑫澤井家住宅及び長屋門

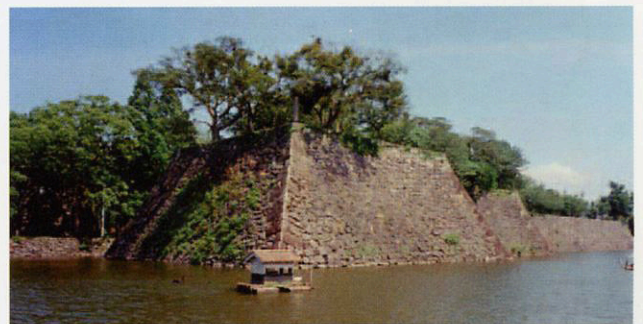
● 本丸

現在残っている石垣は、八代城の本丸だったところです。本丸を囲む内堀の周りには、二之丸、三之丸、北之丸、出丸があり、その外側はさらに外堀で囲まれていました。

本丸には大小の天守台①と政治を行う大広間、城主の住む屋敷、能舞台などがありました。

本丸へは、現在の市役所側にかかっている橋②を渡りました。この橋の欄干についている擬宝珠のひとつ③には「元和八年二月吉日」の文字が刻まれています。これは、この城が完成した時の年号(元和8年・1622)で、当時のものが残っている貴重なものです。

八代城跡 県指定史跡 (S38年1月22日指定)



①本丸天守台跡の石垣



②本丸跡東側の欄干橋



③欄干橋の擬宝珠

にのまる 二之丸

二之丸は現在の市役所から総合病院の辺りにありました。ここには諸役人の詰め所で政治的な事務所となった会所、藩校の伝習堂と教衛場、作事所、馬屋などがおかれしました。総合病院の南側に、二之丸の外堀の石垣跡④がわずかに残っています。

八代の藩校伝習堂と教衛場跡 市指定史跡（S40年5月18日指定）



④二之丸石垣跡

さんのまる 三之丸

三之丸は、本丸の南西部の部分で、重臣の屋敷と永御蔵（米蔵）がおかれしました。

永御蔵の建物（薬医門と番所）は、現在春光寺（古麓町）に移され今もその姿を見ることができます。元の場所（紳士服店が建っているところ）には、跡地を示す表示板⑤があります。

また、武道館と総合福祉センターの建物に、三之丸の外堀の石垣跡を示す表示板があります。



永御蔵御門（薬医門）と番所（春光寺に移築復元）

永御蔵跡 市指定史跡（S40年5月18日指定）
永御蔵御門・永御蔵番所 市指定有形文化財（建造物）（S40年5月18日指定）
松井家菩提所の江東山春光寺 市指定有形文化財（建造物）（S40年5月18日指定）：八代市古麓町

きたのまる 北之丸

北之丸は、城主の隠居所や一族の邸宅があったところで、現在松井神社が建っています。

ここには、細川三斎時代の茶庭⑦がほぼ昔のまま残っていて、三斎が自ら植えたという臥龍梅⑥が、今も美しい花を咲かせています。松井神社の裏に北之丸の外堀の一部⑧を見ることができます。



⑥臥龍梅



⑦松井神社茶庭（北之丸跡）



⑧北之丸の外堀跡

臥龍梅 県指定天然記念物（S57年8月28日指定）
松井神社の茶庭 市指定史跡（S40年4月12日指定）

でまる 出丸

出丸は、代陽小学校と八代第一中学校がある場所です。一中の校庭の東南に細川三斎が織田信長を供養するために建てた五輪塔があります。これには「織田将軍去遊四九歳、天正十年六月二日」「寛永十年六月三日」「細川参議敬建」の文字が刻まれています。ここには泰巖寺・泰勝院・宗雲寺の三寺があり、三斎が亡くなったとき、その遺体が火葬された甘棠園があった場所でもあります。

細川幽斎菩提所の泰勝院跡 市指定史跡（S40年5月18日指定）
織田信長墓 五輪の塔 市指定有形文化財（建造物）（S40年5月18日指定）
織田信長菩提所の泰巖寺廃寺跡 市指定史跡（S40年5月18日指定）
細川三斎公御茶毘所の甘棠園 市指定史跡（S40年5月18日指定）



⑨織田信長供養塔

● 松浜軒

国指定名勝の松浜軒⑩は、元禄元年（1688）松井直之が母崇芳院のために別邸として建てたもので、池の形が「心」を表した茶庭となっています。

当時、この場所は八代海が見渡せる浜辺であったことから、この名があります。正門には、大名長屋門のうち屋根なしの略式門（冠木門）⑩、門の左右に入母屋造りの番所が残っています。庭の入口にある建物（驥斎＝馬屋の意味）では、松井文庫に伝来する文化財を展示しています。



⑩松浜軒正門の冠木門



⑪松浜軒庭園

旧熊本藩八代城主浜御茶屋(松浜軒)庭園 国指定名勝（H14年12月19日指定） 松井文庫所蔵品（国指定6件、市指定13件）

● 武家屋敷

侍たちが住む屋敷は、城の周りに置かれました。城下町の入り口や城へ通じる場所など特に重要な位置には、重臣の屋敷が置かれ、警備の役目も果たしました。

現在、市立博物館の南側にある澤井家住宅とその長屋門⑫が、唯一当時の武家屋敷の佇まいを伝えています。



⑫澤井家住宅及び長屋門

澤井家住宅及び長屋門 市指定有形文化財（建造物）（H6年7月21日指定）
澤井家長屋門 市指定有形文化財（建造物）（H6年7月21日指定）

● 本成寺高麗門

本成寺は、加藤忠正（清正の次男）の菩提寺で、もと宮地村にあったものが、細川三斎のころ、城下町に移されました。

この寺の門は、八代城本丸にあった高麗門が移されたもので、元の形のまま再建されたといわれる八代城内の遺構です。



本成寺高麗門

加藤忠正菩提所の泉福山本成寺 市指定有形文化財（建造物）（S40年5月18日指定）
本成寺高麗門 市指定有形文化財（建造物）（S40年5月18日指定）

じょうかまち 城下町

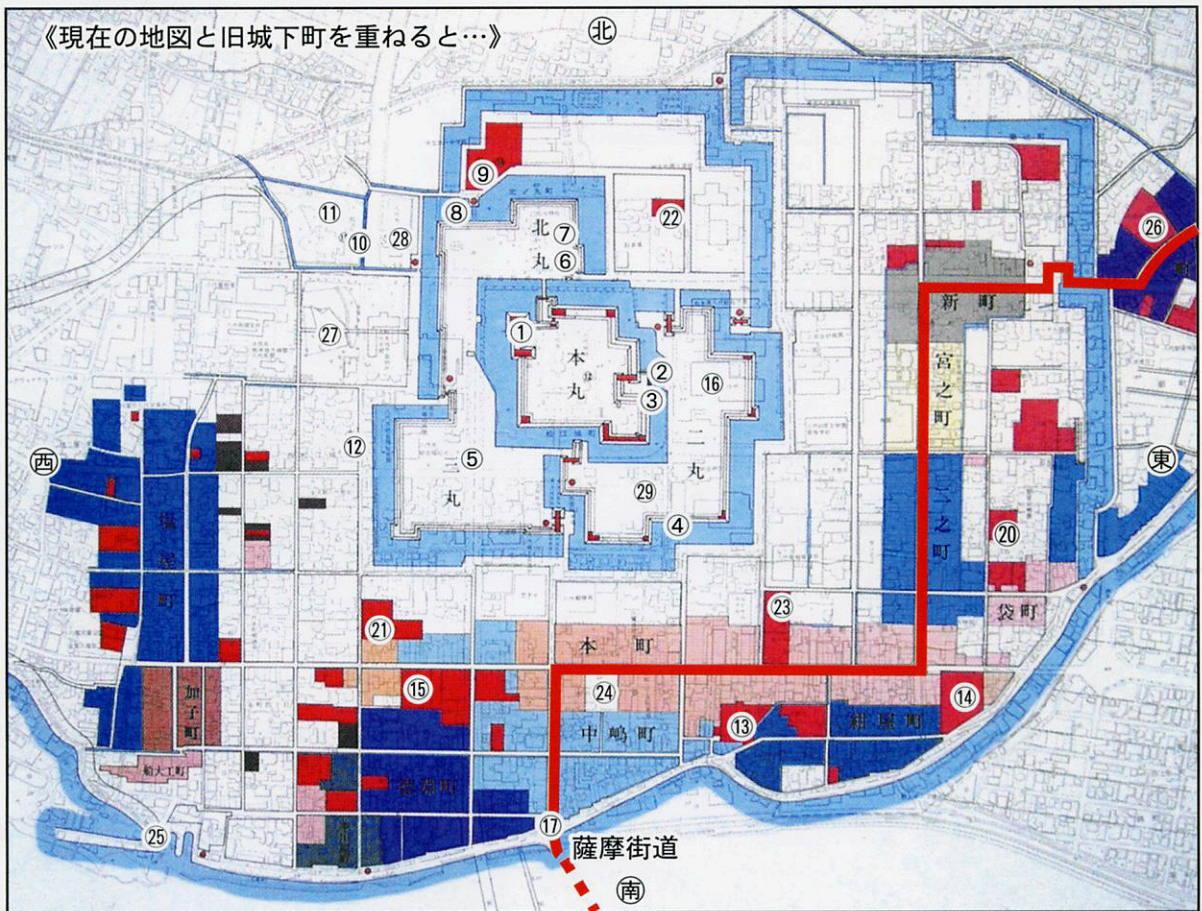
八代城の東側から南側にかけて、商人や職人たちの住む町屋がおかれまして。

現在の出町から通町、宮之町を南下し本町アーケードに入り、肥後銀行八代支店の角を南に折れて、前川の「札の辻」に出るのが江戸時代の幹線道路で、薩摩街道と呼ばれていました。

旧城下町の宮之町、本町、二之町、新町（現通町）、中島町、紺屋町、徳淵町と湊原町、平河原町、塩屋町は、現在でも妙見祭（妙見宮祭礼神幸行列）で笠鉾を出しており、出町は亀蛇舞い、中島町は獅子舞楽を奉納するなど、当時の城下町の繁栄と伝統を今に伝えています。

また、城下町にあった寺社のほとんどは昔のままの場所にありますが、なかでも浄信寺と安養寺は、加藤正方（加藤清正・忠広の重臣、八代城代）父母の菩提寺で、もとは麦島城下にあったものが城の移転とともに移されたものです。

妙見宮祭礼神幸行列	県指定重要無形民俗文化財	(S35年4月22日指定)	
妙見宮祭礼神幸行列関係資料	県指定重要民俗文化財	(H15年4月16日指定)	笠鉾 9 基、神輿 1 基
妙見宮祭礼の獅子舞	市指定無形民俗文化財	(S34年9月20日指定)	
亀蛇舞い	市指定無形民俗文化財	(S34年9月20日指定)	
加藤可重菩提所の了覚山浄信寺	市指定有形文化財（建造物）	(S40年5月18日指定)	浄信寺所蔵品（市指定10件）
加藤正方父母の菩提所安養寺	市指定有形文化財（建造物）	(S40年5月18日指定)	安養寺所蔵品（市指定1件）



- ①本丸天守台跡 ②本丸跡東側の欄干橋 ③欄干橋の擬宝珠 ④二之丸石垣跡 ⑤永御蔵跡 ⑥臥龍梅
 ⑦松井神社茶庭（北之丸跡） ⑧北之丸の外堀跡 ⑨織田信長供養塔 ⑩松浜軒正門の冠木門 ⑪松浜軒庭園
 ⑫澤井家住宅及び長屋門 ⑬本成寺 ⑭浄信寺 ⑮安養寺 ⑯八代の藩校伝習堂と教衛場跡 ⑰札の辻・十一里木跡

- その他の文化財・文化施設など
 ⑳医王寺 ㉑盛光寺 ㉒八王社の樟 ㉓金立院のキリシタン墓碑 ㉔八代城下町御客屋跡 ㉕住吉神社
 ㉖光徳寺（西南の役官軍衝背軍本陣跡） ㉗八代市立博物館（34-5555） ㉘八代市立図書館（32-3385）
 ㉙八代市文化課（35-2021）

（図版「やつしろ文化財シリーズ④ 八代城町絵図」平成8年3月 ©八代市教育委員会）

平成16年3月 発行：八代市立博物館友の会 資料提供：八代市教育委員会
 博物館友の会会員募集中！ 一般（個人）2,000円 特別（法人）1口20,000円
 （会員になると…博物館に何回でも入館でき、年4回の会報で最新情報がキャッチできるなど、お楽しみ色々です）
 八代市立博物館友の会事務局 ☎34-5555 ホームページ <http://www6.ocn.ne.jp/~y-museum>